

# 組合管掌健康保険事業状況報告(月報) 添付報告ファイル作成ツール

## 操作説明書

Ver. 1.13.0

厚生労働省保険局調査課

# 目次

1. インストールの方法	1
1-1. インストール	1
1-2. フォルダ構成	2
2. 稼働環境と使用許諾	3
2-1. 稼働環境	3
2-2. 使用許諾	5
3. 月報提出までの流れ	6
4. 操作の概要	7
4-1. ステップ1：月報入力	9
4-1-1. 処理メニュー画面の入力及び選択	9
4-1-2. (A) データの入力及び修正作業	9
4-1-2-1. 過去の月報の再入力の方法	11
4-1-3. (B) CSVファイルの取り込み	11
4-1-3-1. 取り込みファイルが正常な場合	11
4-1-3-2. 取り込みファイルがエラーの場合	13
4-2. ステップ2：エラーチェックとエラー表示	16
4-2-1. 標準報酬月額等級表を使ったチェックについて	19
4-2-2. 前月の数値との相関チェックについて	19
4-2-3. 新しく特例退職を始めた場合の前月チェックについて	19
4-3. ステップ3：CSVファイル作成	20
4-4. オプション：月報様式の印刷	22
5. 本ツールに関する問い合わせ先	24
(別紙) 添付報告ファイル作成ツール利用時のエラーに関するQ&A	26

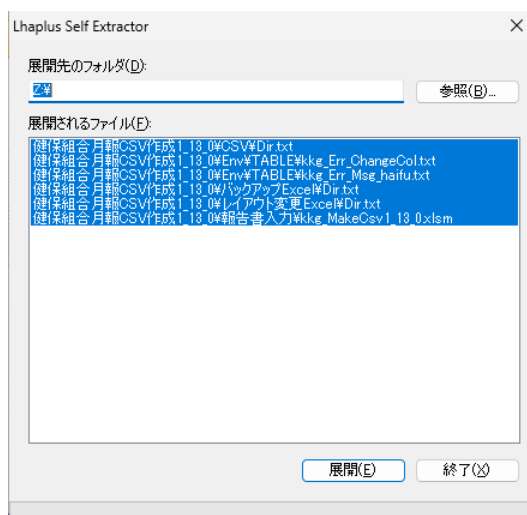
# 1. インストールの方法

## 1-1. インストール

(1)ダウンロードした**健保組合月報 CSV 作成 1\_13\_0.EXE** というファイル



をダブルクリックして下さい。すると以下の画面が表示され、フォルダを解凍する場所を指定できます(何も指定せずに「OK」を押すと、**健保組合月報 CSV 作成 1\_13\_0.EXE** と同じ場所に解凍します)。



(2)「OK」ボタンを押すと、**健保組合月報 CSV 作成 1\_13\_0** というフォルダ



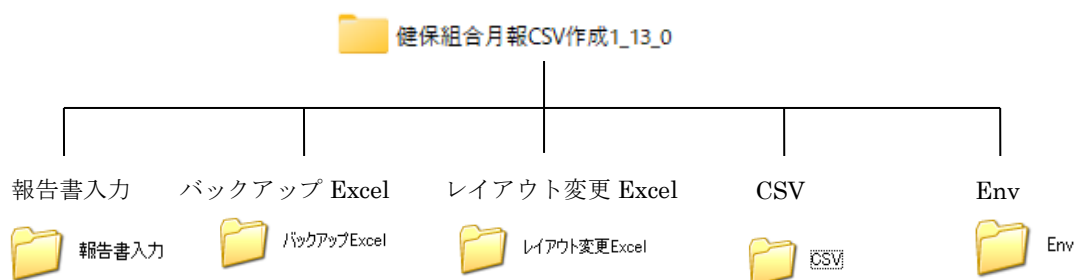
が作成されます。これでインストールは終了です (このフォルダは任意の場所 (例えばお使いの PC のデスクトップなど) に保存していただいて構いませんが、FD などの記録メディアには保存しないで下さい。正常に起動しなくなる恐れがあります。)。プログラムを起動するには、「報告書入力」フォルダの中にある **kg\_MakeCsv1\_13\_0.xlsm** という名称の Excel ファイルをダブルクリックして開いて下さい。



## 1-2. フォルダ構成

プログラムのフォルダ構成は、以下の図のとおりです。これらのフォルダは絶対に削除・移動・名称変更をしないで下さい。プログラムが正常に動作しなくなります。

添付報告ファイル作成ツール(Ver. 1\_13\_0)



各フォルダの説明は以下のとおりです。

**報告書入力：** 報告書入力

組合管掌健康保険事業状況報告（以下「月報」といいます。）を記入するための Excel ファイル（**kkg\_MakeCsv1\_13\_0.xlsm**）が置かれています。

**バックアップ Excel：** バックアップExcel

「CSV ファイル作成」ボタンが押されたときに同時に作成されるバックアップ用 Excel ファイルが置かれます。訂正月報を作成する際に使用します（P 1 1 の「4-1-2-1. 過去の月報の再入力の方法」を参照のこと。）。

**レイアウト変更 Excel：** レイアウト変更Excel

「月報様式の印刷」ボタンが押されたとき、印刷またはレイアウト変更（印刷のレイアウトがきれいにならなかった場合に変更する）の Excel ファイルが置かれます。

**CSV：** CSV

「CSV ファイル作成」ボタンが押されたときに作成される提出用月報 CSV ファイルが置かれます（注意：本プログラムで作成した月報 CSV ファイル以外の CSV ファイルはこのフォルダの中に保存しないで下さい。エラーチェックが正常に動作しなくなります。）。

**Env：** Env

プログラムの動作に必要な設定ファイルが含まれています。直接ユーザが参照することはありません。

なお、「バックアップ Excel」「レイアウト変更 Excel」「CSV」フォルダには、**Dir.txt** という名前のテキストファイルがあらかじめ置かれています。このファイルは、インストール後、削除しても、そのまま残してもどちらでもかまいません。**Dir.txt** の内容は、上に挙げたようなフォルダの用途についての説明です。

## 2. 稼働環境と使用許諾

### 2-1. 稼働環境

稼働環境

OS	Windows11
必要ソフト	Microsoft Office の Excel2021 がインストールされていること
HDD 容量	プログラムのインストールのみで 2.5MB の空き容量が必要 また、1 ヶ月あたり、CSV ファイルが 10KB、データ保管用 Excel が 2MB 必要
ディスプレイ	High Color(16ビット)以上推奨(※1) XGA(1024 × 768)の解像度を推奨(※2)
メモリ	512MB 以上が必須

※1 画面の色が 256 色以下の場合、色が正しく表示されない場合があります。

※2 解像度が 1024 × 768 以下の場合

一部のノートパソコンのディスプレイは、解像度が 800×600 以下のため、そのまま CSV 作成プログラムを使用すると、画面内におさまらず見づらい場合があります。その場合は、Excel のツールバーにある「ズーム」の倍率を「75%」にして下さい。

解像度が低いパソコンで画面が見づらい場合の対処

15

項目の先頭

入力終了

組合管掌健康保険事業状況報告(月報)

2018年度

2018年9月 分

組合名  
テマ健康保険組合

所在地  
東京都

組合コード	23671	記番号	東-0001	業態番号	19		
(1) 事業所数	8						
事業所1	被保険者			被扶養者			
	男(人)	女(人)	計(人)	男(人)	女(人)	計(人)	
	加入者数	1,400	330	1,730	694	1,397	2,091
	前期高齢者数(再掲)	7	3	10	0	25	25
	70~74歳加入者数	1	2	3	0	12	12
	現役並み所得者	1	0	1	0	0	0
	一般	0	2	2	0	12	12
	未就学児(再掲)				212	184	396
	加入者数	3	0	3	5	6	11
	異動状況						
	脱退者数	7	0	7	4	9	13
	標準負担額減額対象者数	0	0	0	0	0	0
	長期該当者(再掲)	0	0	0	0	0	0
	標準報酬月額総計(千円)	1,425,930	275,498	1,701,428			
	標準賞与額総計(千円)	4,280	0	4,280			
特定疾病該当者数				2			
任意継続分(再掲)							
加入者数	4	1	5	0	6	6	
前期高齢者数(再掲)	1	1	2	0	1	1	
70~74歳加入者数	0	0	0	0	0	0	
現役並み所得者	0	0	0	0	0	0	
一般	0	0	0	0	0	0	
未就学児(再掲)				0	1	1	
標準負担額減額対象者数	0	0	0	0	0	0	
長期該当者(再掲)	0	0	0	0	0	0	
標準報酬月額総計(千円)	2,610	320	2,930				
育児休業保険料免除該当分(再掲)							
加入者数	0	8	8	2	4	6	

第一号 第二号 第三号 第四号 第五号 標準報酬月額等級表

準備完了

80%

ズームの倍率を80%から75%  
に変える。

## 2-2. 使用許諾

本プログラムをインストールして、御使用になるためには、以下の内容に同意していただく必要があります。

### (著作権)

- ・ 本ソフトウェア（添付報告ファイル作成ツール）及びドキュメント等は、著作権の対象となっています。

### (使用条件及び転載)

- ・ 本ソフトウェア及びドキュメント等の営利目的の譲渡を禁じます。
- ・ 本ソフトウェアを、厚生労働省の許諾なく複製及び改造することを禁じます。  
なお、本来の目的で使用するために、本プログラムの全てを複製することは、この限りではありません。

### (免責)

- ・ 本プログラムを使用、又はインストールしたことによって発生したいかなる損害についても、厚生労働省は一切の責任を負わないものとします。

### (その他)

- ・ 本ソフトウェアおよびドキュメントなどについて、修正が発生した場合は e-mail または文書及び厚生労働省ホームページにて連絡致します。  
その際はプログラムの入れ替えなどをお願い致します。

### 3. 月報作成までの流れ

ここでは、月報作成までの流れを説明します。提出用月報 CSV ファイルの作成手順には2通りあります。

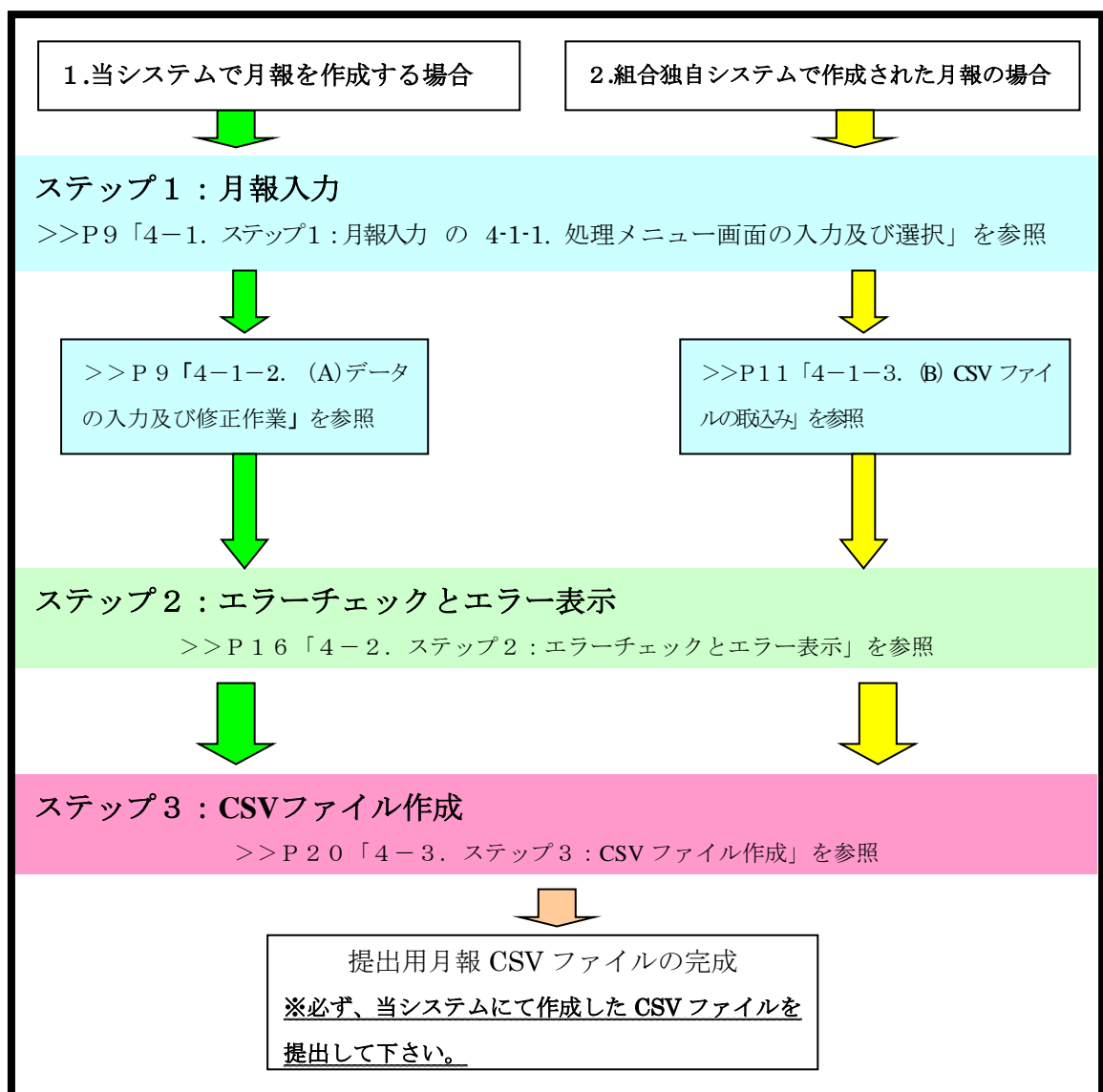
#### 1. 当システムで月報を作成する場合

月報を新規に作成、エラーチェック、エラーがあれば数値の修正を行い、提出用月報 CSV ファイルを作成します。

#### 2. 組合独自システムで作成された月報の場合

組合独自システムで作成された月報 CSV ファイルを当システムにて取り込み、エラーチェック、エラーがあれば数値の修正を行います。その後、提出用月報 CSV ファイルを作成します。

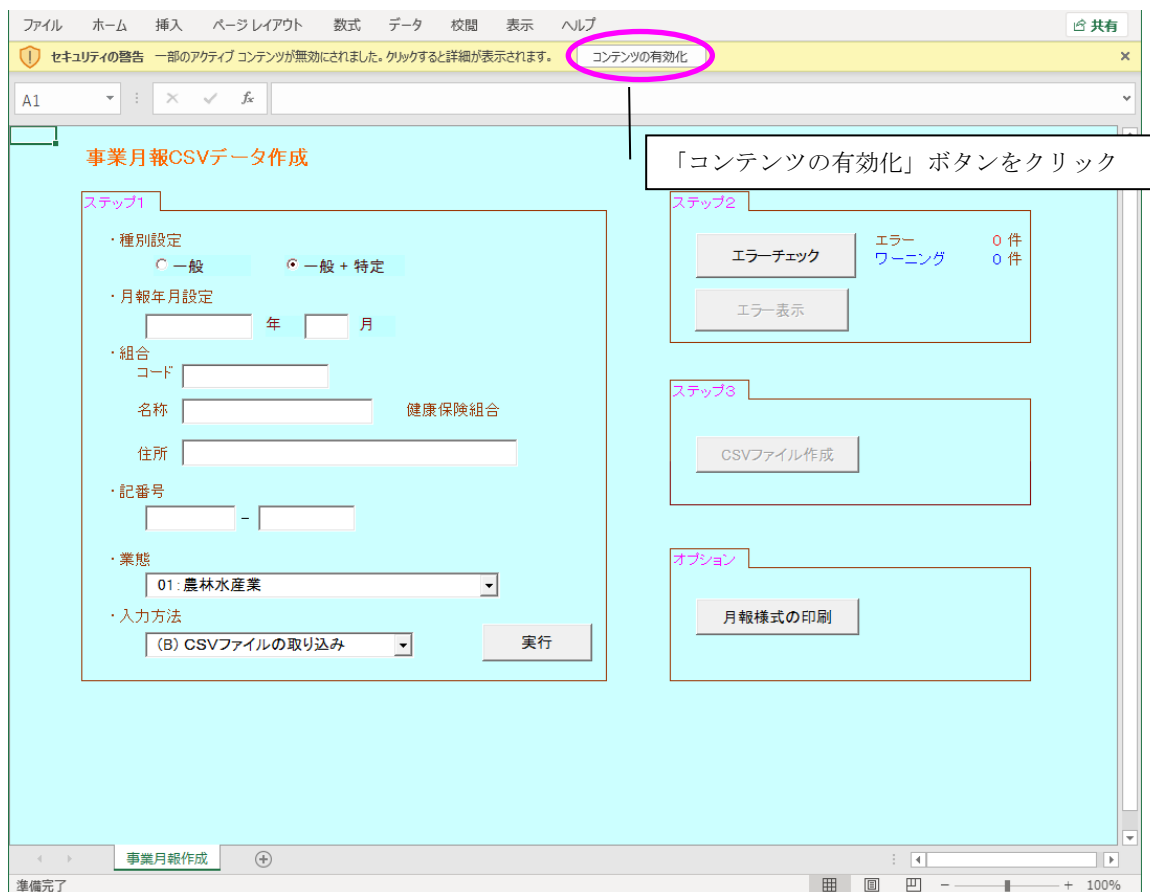
※必ず、当システムにて作成した月報 CSV ファイルを提出して下さい。





## 4. 操作の概要

CSV 作成プログラムを起動するには、「報告書入力」フォルダにある **kkg\_MakeCsv1\_13\_0.xlsm** という名称の Excel ファイルを開くだけです。そのとき「セキュリティの警告」について聞かれたら、下記の通り操作して下さい<sup>1</sup>。



<sup>1</sup> 処理メニュー画面が表示され、どのボタンも押すことができない現象が生じた場合、Excel のセキュリティレベルが「高」設定になっている可能性があります。

ツールバーの「開発」→「マクロのセキュリティ」で、マクロの設定を「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」に設定して下さい。

すると、以下のような処理メニュー画面が表示されます。

### 処理メニュー画面

事業月報CSVデータ作成

ステップ1

- ・種別設定  
☐ 一般 ☒ 一般 + 特定
- ・月報年月設定  
年 月
- ・組合  
コード  
名称 健康保険組合  
住所
- ・記番号  
-
- ・業態  
01: 農林水産業
- ・入力方法  
(B) CSVファイルの取り込み

実行

ステップ2

エラーチェック エラー 0 件  
ワーニング 0 件

エラー表示

ステップ3

CSVファイル作成

オプション

月報様式の印刷

事業月報作成

この処理メニュー画面から、以下の4つの処理を行なうことができます。

ステップ1：月報入力

ステップ2：エラーチェックとエラー表示

ステップ3：CSV ファイル作成

オプション：月報様式の印刷

## 4-1. ステップ 1：月報入力

### 4-1-1. 処理メニュー画面の入力及び選択

「・種別設定」では特定健康保険組合であれば、“一般＋特定”を選んで下さい。それ以外の組合は“一般”を選んで下さい。

「・月報年月設定」では作成する月報の年月日、または読み込む月報 CSV ファイルと同じ年月日を入力して下さい。

「・組合」には組合コード・組合名称・住所を入力して下さい。

「・記番号」では△－〇〇〇〇（△は漢字、〇は数字）で表される「組合記号番号」を入力して下さい。

「・業態」はプルダウンで選択して下さい。

「・入力方法」では当システムで月報を作成する場合および修正する場合は「**(A) データの入力及び修正作業**」を、組合独自システムで作成された月報を取り込む場合は「**(B) CSV ファイルの取り込み**」を選択し、実行ボタンを押して下さい。

### 4-1-2. (A) データの入力及び修正作業

当システムで月報を作成する場合、月報シートにデータを入力します。処理メニュー画面の「入力方法」の▼をクリックして「(A) データの入力及び修正作業」に変更し、「実行」ボタンを押して下さい。すると、次のように、月報シートが表示されますので、背景が青色のセルに数字を記入して下さい（それ以外のセルは入力できません）。必ず数字のみを記入して下さい。数式の入力はできません。また、青色のセルに対して「セルの切り取り」操作を行うと、正しく CSV ファイルが作成できないので、絶対に行わないで下さい。

なお、紫色のセルはシステムで自動的に計算される「機械計」のセルを意味します。このセルは手入力できないようにロックがかけられています。

月報シート

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ チーム

コメント 共有

K79 6

項目の先頭 入力終了

組合管掌健康保険事業状況報告(月報)

2022年度

2022年4月 分

組合名

所在地

組合コード

20045

記番号

北-1111

業態番号

01

第一号用紙

事業所数

10

被保険者

被扶養者

加入者数

36,781

9,555

46,336

18,499

38,529

57,028

前期高齢者数(再掲)

139

5

144

60

369

429

70~74歳加入者数

15

0

15

39

199

238

現役並み所得者

2

0

2

0

0

0

一般

13

0

13

39

199

238

未就学児(再掲)

5,890

5,666

11,556

異動状況

加入者数

296

101

397

193

419

612

脱退者数

296

101

397

193

419

612

標準負担額減額対象者数

0

0

0

0

0

0

長期該当者(再掲)

0

0

0

0

0

0

標準報酬月額総計(千円)

16,257,192

2,467,232

18,724,424

標準賞与額総計(千円)

91,106

14,114

105,220

特定疾病該当者数

21

9

短時間労働者(再掲)

加入者数

628

44

672

22

1

23

前期高齢者数(再掲)

26

6

32

11

1

12

70~74歳加入者数

6

5

11

10

1

11

現役並み所得者

0

0

0

0

1

1

一般

6

5

11

10

0

10

未就学児(再掲)

0

0

0

第一号 第二号 第三号 第四号 第五号 標準報酬月額等級表

処理メニュー画面で入力（または選択）された「組合名」「所在地」「業態番号」などは、月報シートにも同じ文言が表示されます。また、種別設定において「一般」と「一般＋特定」のどちらを選ぶかによって、表示されるシートの数が変わります。

青色セルへの入力が終わりましたら、「入力終了」をクリックして、ステップ2（P 1 6）へ進んで下さい。

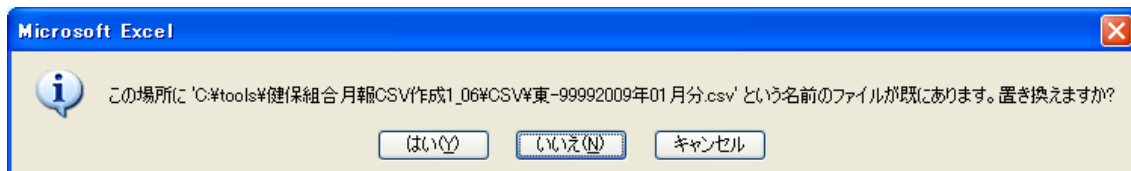
なお、入力の途中で作業を保存して、後に再開したい場合は、通常の Excel ファイルの保存と同じように、「上書き保存」を行なって下さい。その後、再度 **kkg\_MakeCsv1\_13\_0.xlsx** ファイルを開けば、作業を途中から再開できます。

#### 4-1-2-1. 過去の月報の再入力の方法

先月、またはそれ以前の月報について、数値を訂正して CSV ファイルを再提出しなければならない場合があります。その場合、「バックアップ Excel」フォルダに置かれている該当月の Excel ファイルを開いて下さい<sup>2</sup>。すると、処理メニュー画面が表示されますので、後は、今月分の月報入力と同じように、数値の記入 → エラーチェック → CSV ファイル作成、という手順を踏むことで、「CSV」フォルダに CSV ファイルが再作成されます。

このとき再作成される CSV ファイルの名称は、以前作成した該当月の CSV ファイルの名称と同じです。上書きするか否かを聞く以下のダイアログが表示されますので、上書きしてよろしければ「OK」を押して下さい。

#### CSV ファイルを上書きするか否かたずねるダイアログ



もし以前作成した CSV ファイルを保存しておきたい場合は、再作成の前にコピーを他のフォルダに作成するか、CSV ファイルの名称を変えておいて下さい。

なお、電子申請で CSV ファイルを再提出する場合は、CSV ファイルの名称を「記番号〇〇〇〇年△△月（差換分□）.csv」と変更してから提出願います（P 20 参照）。

#### 4-1-3. (B) CSV ファイルの取り込み

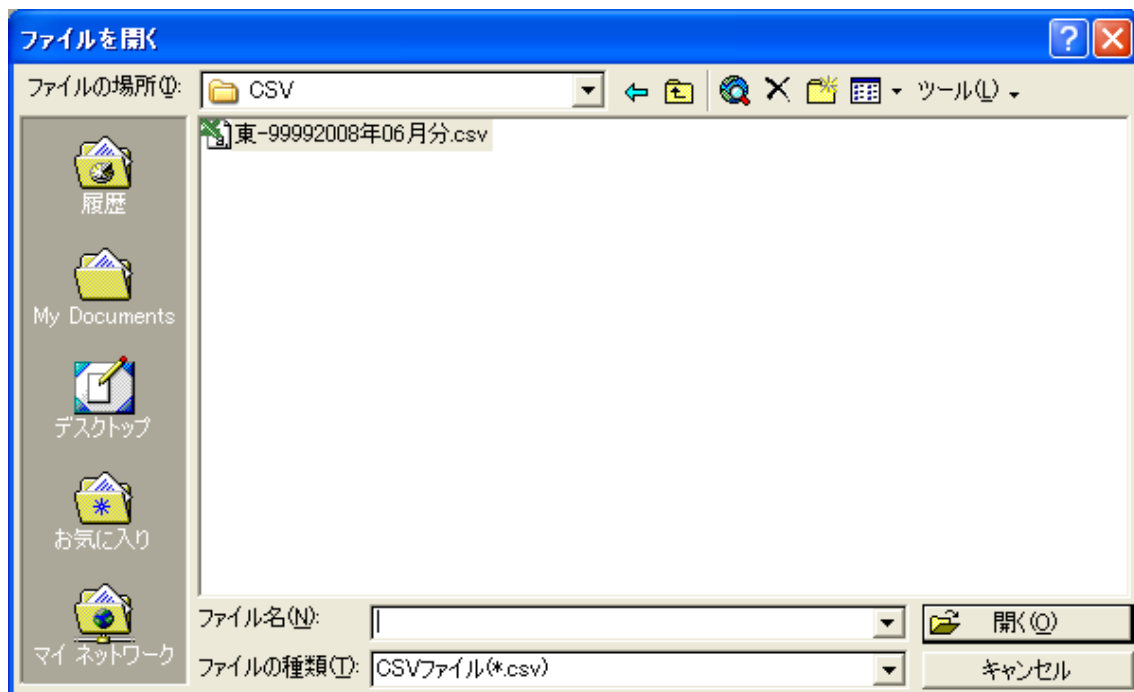
組合独自システムで作成した月報 CSV ファイルを取り込む場合、処理メニュー画面の「入力方法」の▼をクリックして「(B) CSV ファイルの取り込み」に変更し、「実行」ボタンを押して下さい。

##### 4-1-3-1. 取り込みファイルが正常の場合

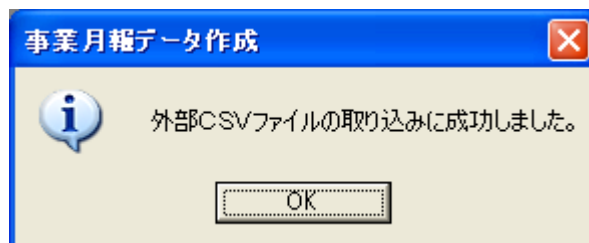
処理メニュー画面の「入力方法」の▼をクリックして「(B) CSV ファイルの取り込み」に変更します。

「実行」ボタンを押し、取り込む CSV ファイルを選択して下さい。

<sup>2</sup> もし、「バックアップ Excel」フォルダに該当月の Excel ファイルがない場合は、「CSV」フォルダにある既に提出した当該月の CSV ファイルを、「CSV ファイルの取り込み」機能を使用して取り込んで作成してください。



「開く」ボタンを押すとデータが取り込まれ、次のようなメッセージが表示されます。



「OK」ボタンを押すと月報シート画面になりますので、正しく入力されているかを確認の上、「入力終了」ボタンを押して下さい。

<注> 数値の展開が終了した時点では、まだステップ3の「CSVファイル作成」ボタンは無効状態です。ステップ2のエラーチェックの結果、エラーが0件になれば、「CSVファイル作成」ボタンが有効となります。

また、取り込み実行の際に、フォーマットチェックを行っています。具体的なチェックの内容については、次の「4-1-3-2.取り込みファイルがエラーの場合」を参照して下さい。

#### 4-1-3-2. 取り込みファイルがエラーの場合

##### 外部ファイル取込機能 エラー一覧

ニューメリックエラー	<p>ファイル内に数値と判断できない項目が含まれていた場合にエラー。 数値であっても、正負 10 桁を超える数値はエラー。 (正常と見なす数値の範囲は、負数 10 桁～正数 12 桁:-9999999999 ～ 999999999999)</p> <p>・5.7 のような小数が含まれていた場合もエラーとする。これは、入力項目が全て整数であるため。</p> <p>ただし、以下の形式は正常と見なし、入力シートへの展開時にプログラム内で正しい形式に変換する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空欄 ⇒ 0 へ変換。(スペースのみの項目も 0 扱いとする)</li> <li>・全角の数字 ⇒ 半角数字へ変換</li> <li>・+5、-7 など符号つきの数値 ⇒ プラスの符号は削除、マイナスの符号はそのまま</li> <li>・「 9」や「56 」などスペースを含む項目(全角スペースも許可) ⇒ スペースを削除する</li> </ul> <p>(ただし「2 9」など中間にスペースがある場合はエラー)</p>
レコード数エラー	<p>ファイルに含まれる行数が以下と一致しない場合、エラー。 (同じ種別が複数ある場合も、エラーと見なす(※1)。)</p> <p>また、管理情報を持つ種別「00」の行は、存在していてもカウント対象外とする。</p> <p>① 一般組合：9 行 ② 一般+特定組合：17 行</p>
不正な種別エラー	<p>ファイル内に以下に挙げる以外の種別を含んでいた場合にエラー。 なお、当該の組合が一般のみの組合か、一般+特定組合であるか否かは、メニュー画面「Step1 種別設定」の選択から判断する。</p> <p>① 一般組合： 11, 12, 21, 22, 31, 32, 33, 34, 35</p> <p>② 一般+特定組合： 一般: 11, 12, 21, 22, 31, 32, 33, 34, 35 + 特退: 41, 42, 43, 51, 52, 53, 54, 55</p>

ヘッダエラー	<p>以下のいずれかの条件に該当した場合にエラー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組合コードが 5 桁、種別が 2 桁、西暦が 4 桁、西暦＋月が 6 桁でなかった場合(どれか一つでも間違っていればエラー)</li> <li>・西暦＋月がメニュー画面「Step1」で選択された年月でなかった場合</li> <li>・組合コードがメニュー画面「Step1」で入力されたコードでなかった場合</li> <li>・業態番号がメニュー画面で選択されたものと異なる場合。業態番号はゼロ埋めの固定 2 桁の形式としてチェックする。</li> </ul>
列数過少エラー	<p>各レコードは、以下に示す列数を満たさなければならない(ヘッダ部の列も含む値である)。これより列数が少ない場合にエラー。列数が多い場合は、エラーとしない。</p> <p>① 一般組合</p> <p>11:95 列 (※2)    12:105 列    21:131 列 (※3)    22:55 列  31:73 列    32:73 列    33:39 列    34:39 列    35:77 列</p> <p>② 特定組合</p> <p>41:46 列    42:128 列 (※4)    43:51 列  51:73 列    52:73 列    53:39 列    54:39 列    55:77 列</p>

※1 同じ種別が複数存在するケースとして考えられるのは、複数月のデータを一つのファイルに保存している場合である。

例えば、2009 年 4 月の種別 11 のレコードと、2009 年 5 月の種別 11 のレコードを同じファイルに保存しているケースである。

※2 取り込みファイル内の西暦＋月が”202204”以降の場合、11:129 列になります。

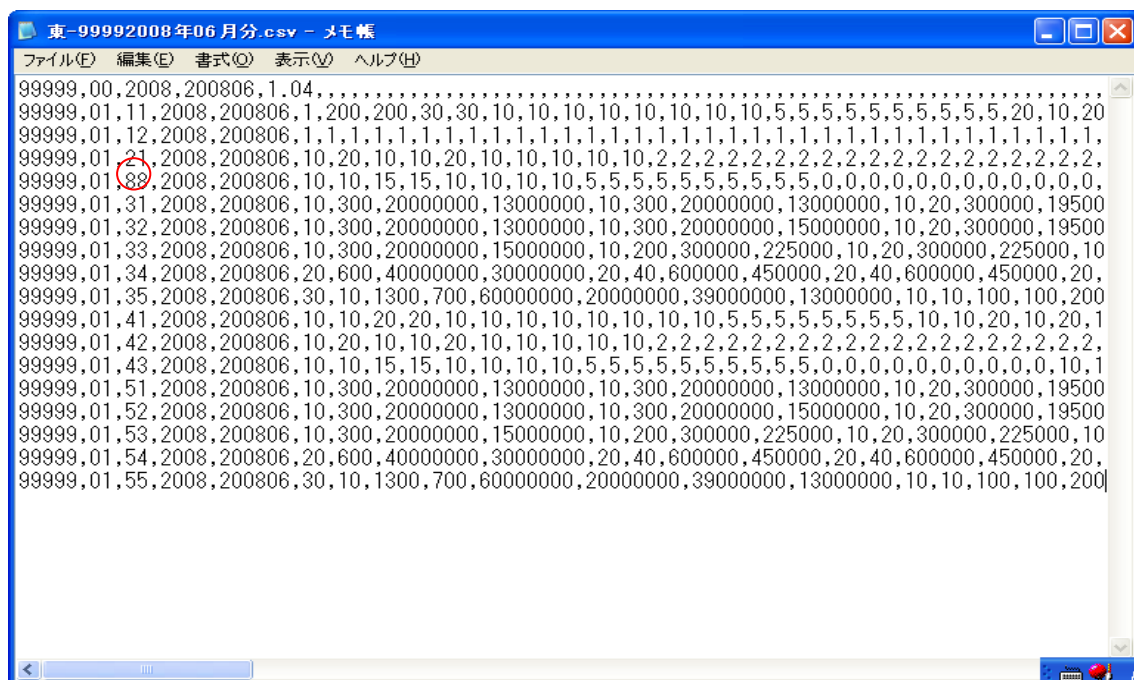
※3 取り込みファイル内の西暦＋月が”202204”以降の場合、21:135 列になります。

※4 取り込みファイル内の西暦＋月が”202204”以降の場合、42:132 列になります。





## サンプルエラーファイル



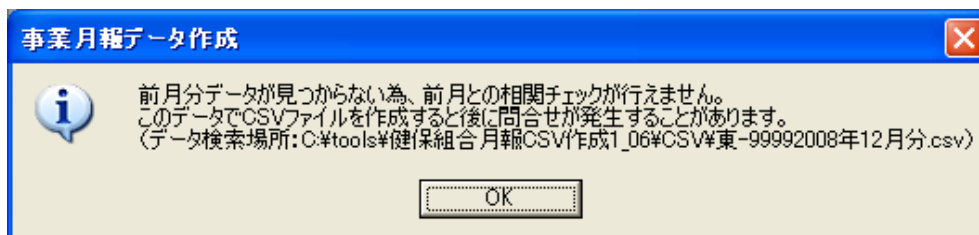
### 4-2. ステップ 2：エラーチェックとエラー表示

処理メニュー画面のステップ 2「エラーチェック」ボタンを押すことによって、ステップ 1 で記入した値または取り込んだ値を使って、エラーチェックを行ないます。

「エラーチェック」ボタンを押して、エラーチェックが終わり、もしエラーや警告（ワーニング）が 1 つでもあれば、「エラー表示」ボタンが有効になります（エラー・警告（ワーニング）ともに 0 件なら、無効のままです）。

「CSV」フォルダに前月の CSV ファイルが存在しない場合、以下のようなメッセージが表示されます。「OK」を押すと、記入された数値を使って月内チェックは行ないますが、前月との関連チェックは行ないません。

#### 前月の CSV ファイルが存在しない場合のメッセージ



「エラー表示」ボタンを押すと、以下のようなエラー表示シートが表示されます。

## エラー表示シート

エラーには、以下の二種類があります。

**エラー**：赤色で表示される。0件にしないと月報 CSV ファイルを作成できない。

**警告（ワーニング）**：青色で表示される。警告が残った状態でも月報 CSV ファイルは作成できる。<sup>3</sup>

「エラー番号」または「エラー場所」にカーソルを合わせて「エラー発生箇所表示」ボタンを押すと、次ページのように、エラーの原因となったセルの位置が表示され、エラーに関係するセルの色が、赤または青に変わります。

<sup>3</sup> 過誤調整等があった場合に包含関係が逆転することがありますので、ワーニングが表示された場合でも転記していただいた数字に誤りがなければ、ステップ3の「CSVファイル作成」に進んでください。

エラー発生個所表示

ファイルホーム挿入ページレイアウト数式データ校閲表示開発ヘルプチーム

コメント共有

K13: 60

項目の先頭入力終了

2022年度

組合名99

2022年4月分

所在地99

組合コード	20045	記番号	北-1111	業態番号	01	
第一号用紙	(1)	事業所数	10			
			被保険者			
			男(人)	女(人)	計(人)	
		加入者数	36,781	9,555	46,336	
		前期高齢者数(再掲)	139	5	144	
		70~74歳加入者数	15	0	15	
		現役並み所得者	2	0	2	
		一般	13	0	13	
		未就学児(再掲)			5,890	
		異動状況	加入者数	296	101	397
			脱退者数	296	101	397
		標準負担額減額対象者数	0	0	0	
		長期該当者(再掲)	0	0	0	
		標準報酬月額総計(千円)	16,257,192	2,467,232	18,724,424	
		標準賞与額総計(千円)	91,106	14,114	105,220	
	特定疾病該当者数			21		
及		短時間労働者(再掲)				
		加入者数	628	44	672	
		前期高齢者数(再掲)	26	6	32	
		70~74歳加入者数	6	5	11	
		現役並み所得者	0	0	0	
		一般	6	5	11	
	未就学児(再掲)			0		

第一号

第二号

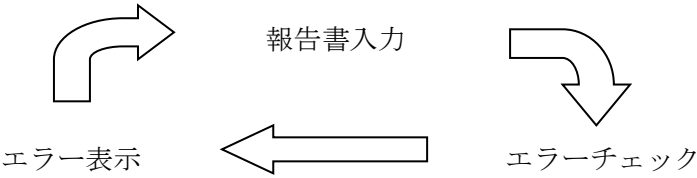
第三号

第四号

第五号

標準報酬月額等級表

エラー個所の修正が終わったら、再度「入力終了」ボタンを押し、処理メニュー画面へ戻り、「エラーチェック」ボタンを押してエラーチェックを行なって下さい。エラーが 0 件になるまで、以下の処理を繰り返すことになります。



#### 4-2-1. 標準報酬月額等級表を使ったチェックについて

月報シートの末尾に、「標準報酬月額等級 等級表」という名前の、読み取り専用シートがあります。このシートの各等級の報酬の数値を使って、標準報酬月額に関するチェックを行なっています。

[illegible]

#### 4-2-2. 前月の数値との相関チェックについて

一般・特退ともに、第 1 号用紙の被保険者・被扶養者の異動状況の「加入者数」および「脱退者数」の数値に対して、前月の被保険者数を使ったチェックを行なっています。（前月の CSV ファイルが「CSV」フォルダに存在しなければ、このチェックは行なわれません）。

#### 4-2-3. 新しく特例退職を始めた場合の前月チェックについて

今まで一般のみのデータを作成していたが、新しく特例退職分のデータも作成することになった場合、前月チェックにおいて、前月分 CSV ファイルの中には一般分のデータは存在しても、特退分のデータが存在しない、という状況が生じます。

この場合、前月の特退分のデータの値は、全て0としてチェックを行なっています。例えば、被保険者数の異動状況チェックの場合、今月の加入者数が50人だとすれば、

今月の被保険者数(50) = 今月加入者数(50) - 今月脱退者数(0) + 前月被保険者数(0)

という式になります。

### 4-3. ステップ3：CSV ファイル作成

エラーチェックの結果、エラーが0件になると、ステップ3の「CSV ファイル作成」ボタンが有効になります（警告（ワーニング）が0件になる必要はありません）。このボタンを押すことで、月報に記入された数字をもとに提出用の月報 CSV ファイルが「CSV」フォルダに作成されますので、そのCSV ファイルをe-Gov 電子申請にて提出して下さい。

作成される CSV ファイルの名称は

「記番号 + ○○○○年 + △△月 + .csv」

という形式になります。たとえば、2009 年 6 月分の千葉県の記番号「123」という組合の CSV ファイル名は、

千-01232009 年 06 月分.csv

となります。

ただし、再提出（訂正月報を提出）する場合には、当該ファイル名を「記番号 + ○○○○年 + △△月 + （差換分□） + .csv」（注）□には再提出回数を記入に直して提出して下さい。

たとえば、2009 年 6 月分の千葉県の記番号「123」という組合の 5 回目の訂正月報 CSV ファイル名は、

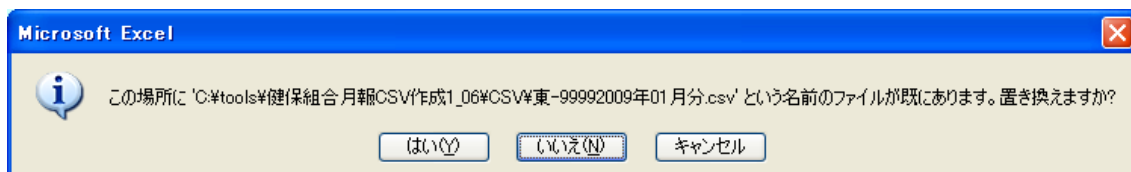
千-01232009 年 06 月分（差換分 5）.csv

となります。

また、CSV ファイルが作成されると同時に、「バックアップ Excel」フォルダにバックアップ用の Excel ファイル（例：2009 年 6 月分であれば、「20090601kkg\_Make Csv1\_06.xlsm」というファイル名）が作成されます。この Excel ファイルの内容は、作成された CSV ファイルと全く同じ数値です。

また、以前に同年同月の CSV ファイルを作成していた場合、次のような、上書きするかどうかをたずねるダイアログが表示されます。

#### CSV ファイルを上書きするか否かたずねるダイアログ



「はい」を押すと上書きして CSV ファイルを作成します。「いいえ」または「キャンセル」を押すと、CSV ファイルを作成せずに処理メニュー画面へ戻ります。

作成された CSV ファイルを、「電子政府の総合窓口（e-Gov）」の電子申請システムから提出して下さい。

「電子政府の総合窓口（e-Gov）」のホームページアドレス

<https://www.e-gov.go.jp/shinsei/index.html>

月報は原則「電子政府の総合窓口（e-Gov）」の電子申請システムからの提出をお願いしております。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

#### 4-4. オプション：月報様式の印刷

紙媒体にて保管する場合など、印刷が必要な際には、オプションの「月報様式の印刷」ボタンを押して下さい。すると、「レイアウト変更 Excel」フォルダに、Excel ファイル（例：2009 年 6 月分であれば、「200906kkg\_ChangeLayout.xls」というファイル名）が作成されます。

事業月報CSVデータ作成

ステップ1

- 種別設定  
☐ 一般 ☒ 一般 + 特定
- 月報年月設定  
年 月
- 組合  
コード  
名称 健康保険組合  
住所
- 記番号  
-
- 業態  
01: 農林水産業
- 入力方法  
(B) CSVファイルの取り込み

実行

ステップ2

エラーチェック エラー 0 件  
ワーニング 0 件

エラー表示

ステップ3

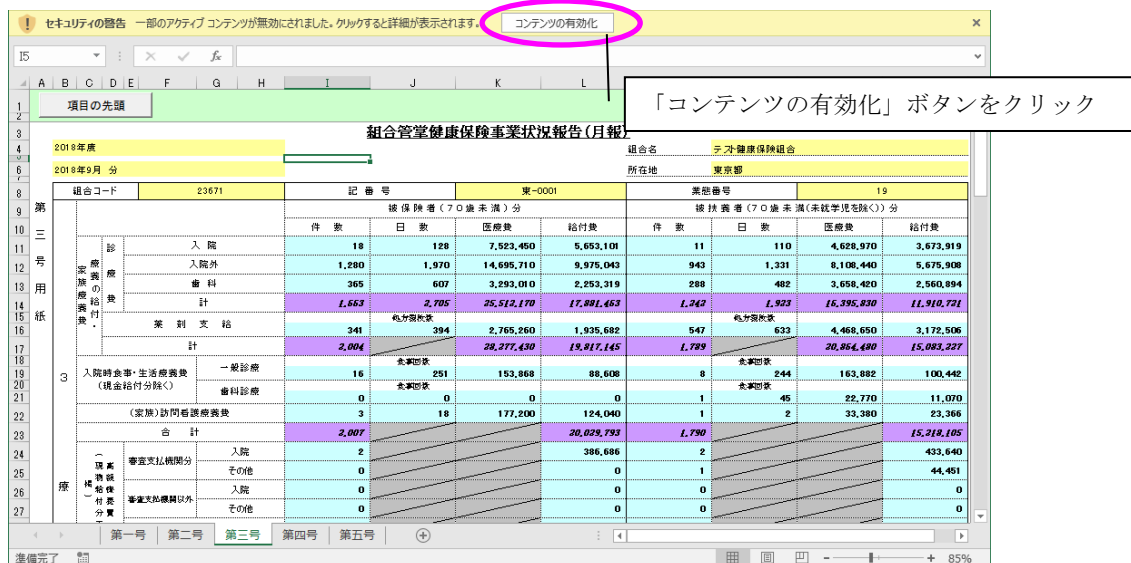
CSVファイル作成

「月報様式の印刷」ボタンをクリック

月報様式の印刷



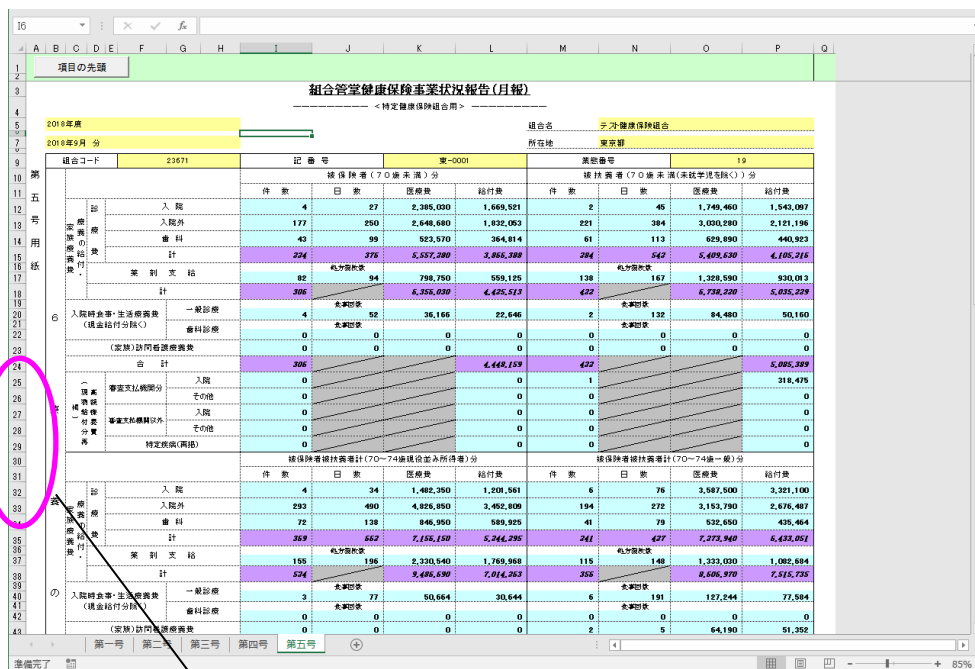
この Excel ファイルを開くと、以下のように「4.操作の概要」で説明した「セキュリティ警告」について聞かれたら、コンテンツの有効化をクリックして下さい。 4



対象の月報シートを印刷して下さい。

きれいに印刷されなかった場合は、該当の月報シートの列番号・行番号のセル幅の変更を行い、月報シートを印刷して下さい。

## レイアウト変更用 Excel



列番号・行番号が表示されます

4 マクロのセキュリティ警告に関しては、P7「4. 操作の概要」をご参照下さい。

## 5 本ツールに関する問い合わせ先

この「添付報告ファイル作成ツール」に関するお問い合わせは、

厚生労働省保険局調査課

03-5253-1111（内線3377）

までお願い致します。

## (別紙) 添付報告ファイル作成ツール利用時のエラーに関する Q&A

### ●本ツール起動時

Q：本ツール（Excel）を起動し、表示されたセキュリティの警告のバナーの「コンテンツの有効化」をクリックした際に、「Microsoft VBA 実行時エラー “438”」というエラーが発生したが、どうすればよいか。

A：Excel のマクロのボタンを動作させる ActiveX が無効になっていることが考えられます。以下の手順をお試しください。

- (1) Excel を起動し、「オプション」→「トラストセンター」→「トラストセンターの設定」→「ActiveX の設定」を選択する。
- (2) 「先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする」を選択する。
- (3) 「OK」を押下して設定を保存する。
- (4) Excel を閉じ、本ツールを再度起動する。

### ●エラーチェック実行時

Q：ステップ 2 でエラーチェックのボタンを押したときに、「プロシージャの呼び出し、または引き数が不正です。(エラーコード：5)」というエラーが発生するが、どうすればよいか。

A：OneDrive 等のクラウド上に本ツールが保存されているとき、本ツールのエラーチェックは実行できない仕様となっております。そのため、本ツールがクラウド上に保存されている場合には、ご使用の環境に応じていずれかの方法をお試しください。

- イ) C ドライブ等のローカルにファイルを移動可能なとき  
C ドライブ等の中に「健保組合月報 CSV 作成 1\_13\_0」のファイルをコピーし、その中にあるファイル作成ツールを起動していただくと、エラーチェックを実行可能となります。
- ロ) USB 等の外付け外部記憶装置を利用可能であるとき  
外部記憶装置に「健保組合月報 CSV 作成 1\_13\_0」のファイルをコピーし、その外部記憶装置の中でファイル作成ツールを起動していただくと、エラーチェックを実行可能となります。

Q：ステップ 2 でエラーチェックのボタンを押したときに、「ファイル名または番号が不正です。(エラーコード：52)」というエラーが発生するが、どうすればよいか。

A：本ツールを動作させるために必要な ファイル が読み込めていない場合に起こるエラーです。「健保組合月報 CSV 作成 1\_13\_0¥Env¥TABLE」に「kkg\_Err\_ChangeCol.txt」と

「kkg\_Err\_Msg\_haifu.txt」が配置されているかご確認ください。

また、2つのファイルが正しい位置に配置されている場合であっても、使用環境によっては動作しない可能性がございます。このときには、厚生労働省のホームページから本ツールをダウンロードし直していただき、現在保存しているフォルダとは別のフォルダに移動させてから動作をご確認ください。

Q：ステップ2でエラーチェックのボタンを押したときに、「パスが見つかりません。(エラーコード：76)」というエラーが発生するが、どうすればよいのか教えてほしい。

A：本ツールを動作させるために必要なフォルダが読み込めていない場合に起こるエラーです。以下の2点をご確認ください。

- イ) 「健保組合月報 CSV 作成 1\_13\_0」のフォルダの中に「Env」、「CSV」、「バックアップ Excel」、「レイアウト変更 Excel」、「報告書入力」のフォルダが配置されていること。もしフォルダ名が変更されていることが確認された場合、再度厚生労働省のホームページから本ツールをダウンロードしてください。
- ロ) 本ツールを zip ファイルでダウンロードしたのであれば、その zip ファイルが解凍されていて、解凍したフォルダ内のツールを実行していること。もし zip ファイルを解凍しないまま本ツールを起動していた場合、zip ファイルを解凍してください。

以上